

研修で  
学校が  
変わる

# 中堅教諭等資質向上研修④ 特別支援教育ステップアップ研修③ まとめ

8月20日（月）国府町コミュニティセンター

## 特別ではない特別支援教育

～上を向いて笑おう 顔をあげて学ぼう～

講師 中尾 繁樹 氏（関西国際大学 教授）

本当のインクルーシブとは  
すべて一緒？  
子どもに合わせて？  
Think outside the box.

### 特別支援教育が普及・定着する意義

- 「障がいの有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会」の実現
- ・いじめ不登校を未然に防止する効果
  - ・教育的ニーズの把握とそれに対応した指導→確かな学力や豊かな心の育成に資する
  - ・教育水準や教員の専門性の向上

### 特別支援教育の視点の導入

- ・実態把握と狙いの明確化→指導内容の充実→適切な評価→修正と再構築化
- ・障がいの有無に関わらず個々の実態を客観的に見極め、学び方の違う40人に対して学級づくりや教科教育の中でどのようにわからせるか

### 授業のユニバーサルデザイン化

- ・全ての子どもたちが学びに参加
- ・多様な学び方に対し柔軟な対応
- ・教材・教具や環境設定
- ・間違いや失敗が許容
- ・試行錯誤
- ・子どもたちにとって「わかりやすく」学習意欲が喚起される授業→ワクワクドキドキ→現実的に力が発揮できる→達成感

特別支援教育の本質は  
子どもの実態把握

### 授業づくり ～自立活動の視点から～

- ◇ 1時間のうちに多様な活動を組み合わせる
- ・細切れの活動を組み合わせる
- ・小刻みな活動に変化を加えて繰り返す
- ・暇な時間をつくらない

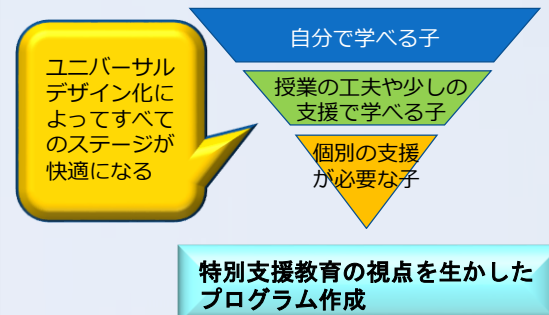


### アセスメント

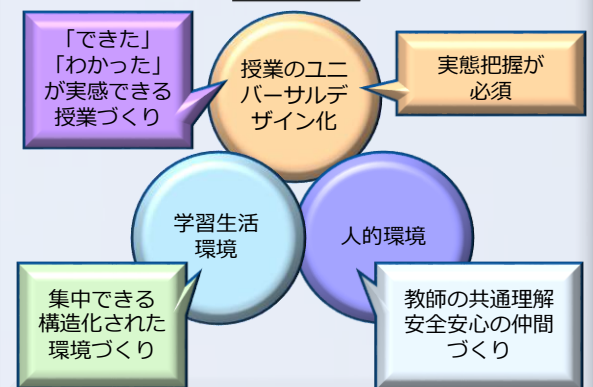
- ・〈クラスのアセスメント〉  
→人間関係・集中・発表や話し合い・学習ルール→プラン評価
- ・〈個人のアセスメント〉  
→「学び方」「物事のとらえ方」→OUTCOME（成果）評価
- ・様々な角度（諸検査・行動・学力・家庭環境等）から情報収集  
→子どもの実態や全体像を理解

特別支援教育と「姿勢」「運動」は深くかかわっている→トレーニング法等多数の具体例を紹介していただいた

### とらえ方・学び方の違い



### 授業とは



### 参加者の感想から

- ・子どもたちの実態把握を適切に行うことが目標の明確化につながるということを改めて感じた。
- ・自立活動の中に、体を使うワークを取り入れたいと思う。
- ・学習指導案に「子どもの実態」「予想される困難と原因」「原因に基づいた指導の手立て」を盛り込むUD化に感銘を受けた。これをもとに「わかる授業」づくりに努めたい。